

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.4.20
第 1094 回放送分『生活習慣病と心臓血管病』3 回目
ゲスト：田中 康博ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、

「生活習慣病と心臓血管病」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島医療センター 院長 田中康博（たなか やすひろ）ドクターです。

田中さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

田中康博Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は、動脈硬化についてお話しいただきました。

脂質異常症や糖尿病、喫煙などにより、血管の中にプラークができると、血液の流れを阻んだり、時には破裂して突然死にいたることもあるため、注意が必要とのことでした。

今週は何についてお話しいただけますか？

田中康博Dr.

今週は、冠動脈疾患についてお伝えします。

二見いすず

冠動脈疾患ですね。まず、冠動脈というのは、体のどの部分になるのでしょうか？

田中康博Dr.

文字にすると、「冠に動脈」と書くのですが、心臓を冠のように覆っている血管で、心臓の筋肉に血液を送っています。

二見いすず

その冠動脈の病気ということですが、具体的にはどのような病気なのでしょうか？

田中康博Dr.

病名だと、狭心症、急性心筋梗塞になります。

これならご存知の方がほとんどではないでしょうか。

二見いすず

そうですね。

狭心症と急性心筋梗塞は、それぞれどのような違いがあるのですか？

田中康博Dr.

まず狭心症ですが、心臓に血液を送っている冠動脈が細くなったり、詰まりかけたりして、一時的に十分に血液が供給されない状態です。信号機で例えるなら黄色信号でしょう。

二見いすず

痛みは強いのでしょうか？

田中康博Dr.

実は、心臓には敏感な神経はないため、痛いというよりも、胸が締め付けられるような感じです。

痛みが点ではないのが特徴で、指先で、「ここが痛い」とピンポイントで指せる場合あるいは左右に偏る場合は、狭心症ではない場合が多いです。

狭心症のときは、手のひらで胸をさするような仕草をとる患者さんが多いです。

時にのどの締めつけ、歯茎が痛い、左肩、腕が痛い、みぞおちの違和感、不快感と訴える方もいます。

二見いすず

そうなんですネ。

田中康博Dr.

5分ほどすると、ずっと良くなるのも狭心症の特徴です。

二見いすず

分かりました。急性心筋梗塞だと、どのような痛みや症状なのでしょう？

田中康博Dr.

急性心筋梗塞は、血管が完全につまる状態です。

胸部圧迫感が30分以上続いたり、また冷汗をかいたり、嘔吐したりしていたら、急性心筋梗塞を起こしている可能性が高いです。信号機で言えば赤信号で、時間との勝負ですので、すぐに救急車を呼んでください。

また、狭心症を経て、心筋梗塞になる方も多いです。

疑わしいときは検査が鉄則です。

様子見をせずに、早めに病院を受診してください。

二見いすず

よく分かりました。

今月は「生活習慣病と心臓血管病」についてお伝えしています。

お話は鹿児島医療センター 院長 田中康博ドクターでした。

田中さん、ありがとうございました。

田中康博Dr.

ありがとうございました。